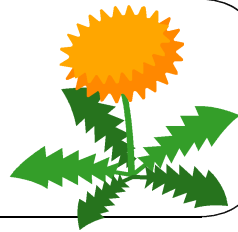




たんぽぽ



2018年、新しい年と共に学校生活も始まりました。新しい年を迎えた子ども達は、希望に胸はずませています。その気持ちを大切に、今年度のしめくくりの時期を過ごしていきたいと思います。通級指導教室でも、1～3月は総まとめの時期です。個々の良さを更に伸ばし、充実感を持って今年度を終わられるよう、一日一日を大切にしていきます。



前号に引き続き、精神科医の杉山登志郎先生の講演でのお話を紹介致します。

療育の基本的指導内容

- 1 健康な生活…基本中の基本となる項目 早寝早起き・適度な栄養・適度な運動
- 2 信頼と愛着形成
- 3 遊びを通しての自己表現活動
- 4 基本的な 身辺自立
- 5 コミュニケーション能力の確立
- 6 集団行動における基本的なルール



ここに掲げた順序は、そのまま優先順を表している。つまり、健康な生活の確立は他の何よりも優先順位が高く、身辺の自立はコミュニケーションの確立よりも優先される。1の「健康な生活」の改善だけで、著しく行動が落ち着く児童はまれではない。睡眠不足の不機嫌な状態で生活を送ることは、健やかな学びに最も反する状況であることは、理解できるだろう。

また、偏食の克服は年来の課題となることが多いが、これも最悪の対応は放置であり、偏食に対して子どもの食べるものしか出さないという対応は、当然だが、偏食の強化に繋がる。

基本的な健康な生活の中で、今日において必要な問題は、「情報の制限」という課題だ。特にテレビがつけたままになっているような状態はできるだけ避けたい。まして一日中ゲームに明け暮れることが社会性を伸ばすかどうかお考えいただきたい。特に自閉症スペクトラムグループの児童のように過敏性を抱える場合には、強すぎる刺激、特に AV 機器による情報はできるだけ避け、人の声と人の肌での育児が基本であると思う。

1月 今月の予定

- 15日（月）後期後半開始
- 24日（水）花小校内授業研究会…通級学習については、個々に連絡
- 25日（木）SEN ネット会議…5校時通級休み

